

## 事業実績書

事業名	性的少数者への理解を深め、地域での居場所を作るための事業	
場所	沼津市	サンウェルぬまづ
期間	平成 29年 7月 7日 ~ 平成 30年 3月 24日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>「セクシュアルマイノリティと医療、健康、福祉に関する全国大会」を企画運営してきた QWRC 理事の井元、桂木氏と面談し、次年度に行う予定の招致の承諾を得ました。その際のノウハウなどをご教示いただき開催に向けて準備に手を付けました。</p> <p>また、静岡県男女共同参画センター交流会議主催の「あざれあめっせ」に参加し、静岡県下の性的少数者団体との交流と共同により啓発活動を行いました。</p> <p>また、私たちの沼津市に住む性的少数者の置かれている現状を改善してゆくべく、人権研究会（明治大学鈴木教授）などに参加した結果として、平成30年2月11日に行った講演会を挙行することとなりました。</p>	
事業効果	<p>講演会事業において、一般市民の参加が70名あまりとなり、その半数がアンケートに協力していただけました。内容は様々で、「当事者の本音を聞くことができてよかった」、「老後の単身者問題は性的多数派にも多数存在するが、講演を聞いていて自分にも役立てると思った」など波及効果が見られました。</p>	
今後の活動予定	<p>GWに行われる東京レインボープライド2018にブース出展し、来年度の事業である学術大会の宣伝活動に努めます。</p> <p>6月上旬に学術大会スタッフによるキックオフミーティング</p> <p>7月に大会WEBページを開設</p> <p>11月末日までに分科会演題を選定、同時に抄録を編集</p> <p>12月中に会場設定</p> <p>3月に実施の予定です。</p>	
自己評価	<p>講演会については参加者70名はまだまだ宣伝不足であったと反省するところです。メディアが喧伝するほど、意外と関心度は低いのもかもしれないと感じました。ただ、おひとりさま問題についての講演は別紙アンケートにもあるように、多数派にも顕在化されており、来年度の当団体のテーマである「【理解】から【共生】へ」の糸口とすることができるのではないかと考えます。</p>	